

はなまきで結婚

【問い合わせ】本館定住推進課(☎41-3516)



結婚新生活支援

夫婦ともに39歳以下で、世帯所得が500万円未満の世帯に新生活にかかる費用や住宅取得費用・家賃費用、引っ越し費用を最大60万円(*)補助します。

*令和6年度から最大70万円に拡大する予定です

特集
住みたい・住み続けたいまちへ

はなまきの 移住・定住支援

市では、移住・定住に関するさまざまな支援を行っています。詳しくは市ホームページをご覧ください。各担当課へお問い合わせください。



はなまきで農業

【問い合わせ】
農政課(☎23-1400)



研修家賃支援

市外から転入し、新たに農業を始める場合、必要な研修を受ける期間の家賃の2分の1(月額最大2万円)を支援します。

研修受け入れ支援

新規就農者の研修を受け入れた農業法人などに月額5万円を支援します。

初期費用・農地賃貸借料補助

新たに農業を始める人に農業機械や資材の購入費用を最大80万円補助します。農地賃貸借料最大1万円(1㌖あたり)助成します。

まだまだあります!
移住・定住の支援策について詳しくは…



市の移住定住ポータルサイト「いいトコ花巻」をご覧ください。



はなまきで働く

【問い合わせ】
本館商工労政課(☎41-3536)



UIターンに対する支援

県外から転入して市内事業所に一定期間就業した人に25万円を支給します。

移住支援金

東京圏から転入し、対象の事業所に就業した人などに最大100万円を支給します。
*18歳未満の子ども1人につき100万円を加算します

インターンシップに対する支援

市内事業所のインターンシップに参加する場合、交通費と宿泊費を最大2万円補助します。

こちらも併せてご覧ください!
「花巻市子育てガイドブック」

花巻の子育て支援情報などがいっぱい!



はなまきに住む

【問い合わせ】本館定住推進課(☎41-3516)



住宅取得者への支援(定住促進住宅取得等補助金)

- 県外から転入した子育て世帯が市内に住宅を取得した場合、最大200万円を補助します
 - 県外から転入した人が空き家バンク登録物件を購入等した場合、最大200万円を補助します
 - 市外から転入した新規就農者が市内に住宅を取得した場合、最大200万円を補助します
- 補助対象経費** 引っ越しに係る費用、空き家のリフォームに係る費用など
* 令和6年度から、18歳未満の子どもが複数いる場合には、2人目以降1人につき10万円補助上限額を拡大する予定です

子育て世帯が住宅取得する場合の支援

親と同居・近居または市指定エリアに子育て世帯が住宅を取得した場合、居住するエリアに応じて30万円または50万円を支給します。
* 令和6年度から、18歳未満の子どもが複数いる場合には、2人目以降1人につき10万円を加算する予定です

空き家バンク利用者への支援

39歳以下の若者世代、県外から転入した人が空き家バンク登録物件を購入等した場合、30万円を支給します。
* 取得した空き家をリフォームした場合、若者世代には最大40万円、子育て世帯の場合にはさらに20万円を加算します

これからも

住みたい・住み続けたい

まちにしていこうため…

平成27年度以降、移住・定住に関する制度を利用して本市に転入した人は、子育て世代を中心として900人を超えています。今回お話を聞かせていただいたのはその中のごく一部にすぎませんが、多くの皆さんが花巻の魅力を感じ、住みたいと思ってくれています。

今回の取材によって、移住者が私たちにもたらしてくれるものがたくさんあることに気付きました。移住者と関わる人の中には「のどかな風景や雪など、私たちにあってはありふれたものに感動する移住者の目線に新鮮さを感じた」と話す人もいました。今まで気付かなかった花巻の魅力を再発見できたそうです。また、移住者が地域を盛り上げようと先頭に立って活躍している場面もありました。

移住者にとって地域の人のつながりを持つ意義は大きく、花巻を好きになってくれた人たちが「定住」へと進むためには、地域の人の出会いや交流も大切な要因の一つと考えられます。そして、お互いの交流によって、より良いまちになっていく可能性があると感じます。

移住する人、移住を受け入れる人、そして移住を支援する人。移住に対する立場はさまざまですが、移住者にとって魅力的なまちであること、あり続けることは、移住者だけではなく、花巻に住む人の明るい将来や豊かな未来につながるのではないのでしょうか。

今ここに暮らす人みんなで手を取り合って、「住みたい・住み続けたいまち」を目指していきましょう。

